

本事例の基礎データ

カテゴリ	ICT 及び先端技術を活用した指導方法		
学校種	小学校	事例提供者	大田区立梅田小学校
学年	第 2 学年	教科等	生活科
単元名	町のすてき つたえたい		
主な ICT 機器	・タブレット PC (キーボード付き Chrome OS 機/一人 1 台)		
授業の概要	町の人々との関わりを深める活動を通して、町のよさや町の人々の温かさに気付く。また、それらについて Google スライドを用いて、1 年生に分かりやすく紹介する。		
「情報活用能力 #東京モデル」の位置付け	情報活用	STEP 1	・情報活用を振り返り、自らの解決のよさを確かめられる。

本事例における教育の情報化について

ポイント 1	<p>日常的な一人 1 台のタブレットの活用</p> <p>授業では、一人 1 台の端末を利用している。個人の作業に集中できるというタブレットの特性を生かし、学習を進めていくことができる。</p>
ポイント 2	<p>記録の手段としてのタブレットの活用</p> <p>町の様子を写真や動画で記録することで、町探検後も繰り返し振り返ることができるようにする。また、振り返りの中で、さらなる気付きを促す。</p>
ポイント 3	<p>Google スライド の活用</p> <p>紹介したい町の様子を詳しく伝えるために、説明に合わせてスライドで写真や動画を提示する。電子黒板に画像や映像を大きく映すことで、児童一人一人の発見がより鮮明に共有され、町に対するイメージを広げることができる。</p>

本単元（題材）における指導の流れ

時間	●主な学習活動 ・ 児童の活動	○支援・留意点 ☆評価
1 ～ 2	<p>●町にはどんな人がいるのかな</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検をしたり、日常の生活を思い出したりして、町にはどんな人がいるのか話し合い、絵地図にまとめる。 ・会いたい人や話をしたい人、聞きたいことなどを話し合う。 	<p>○実際に町探検に行くことで、行ったことがある場所や出会った人について思い出せるようにする。</p> <p>☆関わったことがある人や、知っている人について話し合い、今後の町探検を楽しみにしている。【主体的に学習に取り組む態度】</p>
3 ～ 4	<p>●町たんけんのけいかくを立てよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたいことを決め、グループをつくる。 ・グループごとに質問を考え、インタビューの練習をする。 	<p>○しっかりと質問できるようにするために、友達とアドバイスし合い、タブレットで録画して確認するよう伝える。</p> <p>☆行ってみたい場所や会ってみたい人を思い描きながら、知りたいことに合わせて探検の計画を立てている。【思考・判断・表現】</p>
5 ～ 6	<p>●町の人にインタビューをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検に出かけ、町の人にインタビューをする。 ・発見したことや思ったことなどを探検カードにまとめる。 	<p>○聞いたことを忘れないように、タブレットやワークシートに記録するよう伝える。</p> <p>☆町で生活したり働いたりしている人の様々な工夫や、それが自分たちの生活を支えていることに気付くことができる。【知識・技能】</p>

<p style="text-align: center;">7 ・ 8 ・ 9 ・ 10 ・ 11 (本時) ・ 12</p>	<p>●町のすてきをつたえるじゅんぴをしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの町探検を振り返り、グループごとに「町のすてき」をまとめる。 ・1年生に伝えたい内容を決める。 ・町のすてきを伝える準備をする。 ・発表会の準備や練習をする。 ・アドバイスをもとに、発表の修正や練習をする。 ・クラス内で発表会をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまでの町探検で見つけたことを、絵地図にかき足すことで、町のすてきを伝えたいという意欲をさらに高められるようにする。 ○相手を意識した声掛けを行うことで、伝えたい内容を明確にさせる。 ○町のすてきを詳しく伝えるために、自分の町への思いや願いを入れるよう助言する。 ☆町のすてきを伝えたいという思いをもって、町探検で見つけたことや分かったことを自分なりに表現し、たりまとめようとしている。【思考・判断・表現】
<p style="text-align: center;">13 〜 14</p>	<p>●町のすてきはっぴょう会をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町のすてき発表会を行い、感想を伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目的とねらいを明確にした活動を心がけることで、町のよさや人々と関わることの楽しさに気付けるようにする。 ○1年生から感想を聞く時間を設けることで、達成感や充実感を感じられるようにする。 ☆相手や目的を意識して、分かりやすく伝え合っている。【思考・判断・表現】
<p style="text-align: center;">15</p>	<p>●町たんけんをふりかえろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町探検やすてき発表会を振り返り、分かったことやもっとしてみたいことなどをまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○町探検に行く前と行った後の自身の変化に気付かせ、今後も継続的に地域と関わっていけるよう支援する。 ☆これからも町の人々や場所と進んで関わり、自分の生活を楽しくしようとしている。 <p style="text-align: right;">【主体的に学習に取り組む態度】</p>

本時の流れ

段階	● 主な学習活動・児童の活動	○ 支援・留意点 ☆ 評価
導 入	<p>● 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを知る。</p>	<p>○ これまでの活動で気付いた、町のすてきを振り返ることで、本時の意欲を高められるようにする。</p>
<p>よりよいはっぴようになるように、アドバイスをし合おう。</p>		
展 開	<p>● やってみたいタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表の練習をする。 ・ 発表のときのポイントを確認する。 「町のすてきが伝わるかどうか」 「1年生にとって分かりやすいかどうか」 <p>● 見せ合いタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 聞くときの視点を確認する。 ・ 町のすてきを発表し合う。 ・ ペアグループの発表を聞き、質問したり、感想を伝えたりする。 ・ 伝え合った感想やアドバイスを全体で共有する。 <p>● 仕上げタイム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアグループにもらったアドバイスをもとに、発表の内容を見直す。 ・ 発表内容を確認する。 	<p>○ はじめに発表の仕方や視点を確認することで、見せ合いタイムで自信をもって発表できるようにする。</p> <p>○ 発表の後、直す時間があることを確認することで、見通しをもって進められるようにする。</p> <p>○ アドバイスしてもらったことを記録し、改善につなげられるよう指導する。</p> <p>○ よりよい発表にするために、どのようなことができるのかを全体で振り返る。</p>
ま と め	<p>● 本時を振り返る</p> <p>● 次時の見通しをもつ</p>	<p>☆ 伝えたいことが相手に伝わるかどうかを想定しながら、伝える内容や伝える方法を決めている。</p> <p style="text-align: right;">【思考・判断・表現】（行動、発言）</p>

授業の実際

【ポイント1】 日常的な、一人1台のタブレットの活用



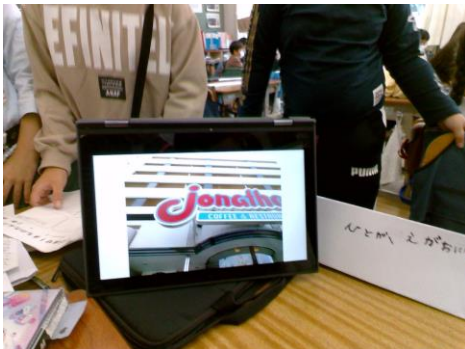
授業では、一人1台の端末を日常的に利用しているため、個人の活動と協働的な活動に円滑に取り組むことができる。

【ポイント2】 記録の手段としてのタブレットの活用



町の様子を写真や動画で記録することで、町探検後も繰り返し振り返ることができるようにする。また、見返していく中で、さらなる気づきを促す。

【ポイント3】 Google スライド の活用



紹介したい町の様子を詳しく伝えるために、説明に合わせてスライドで写真や動画を提示する。画像や動画を大きく映すことで、児童一人一人の発見がより鮮明に共有され、町に対するイメージを広げることができる。

今後に向けて

- Google スライドでのまとめには児童も意欲的に取り組んでいた。さらに、生活科としての気づきの変容を高めるためにも活動と振り返りは必ずセットで学習計画立てることが大切だと考える。また、振り返りの充実のために、問いの精選が必要だと考える。
- タブレットを活用した記録はとても有効であった。しかし、単なるお店調べにならないよう、「見たこと」や「聞いたこと」だけでなく「感じたこと」、「気付いたこと」や「これまでと見方が変わったこと」も記録する必要がある。